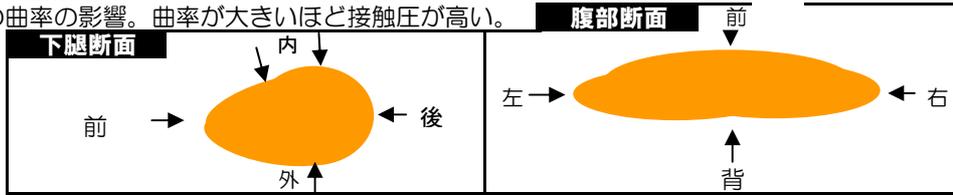


サンプルデータ1 拘束圧（周囲圧）

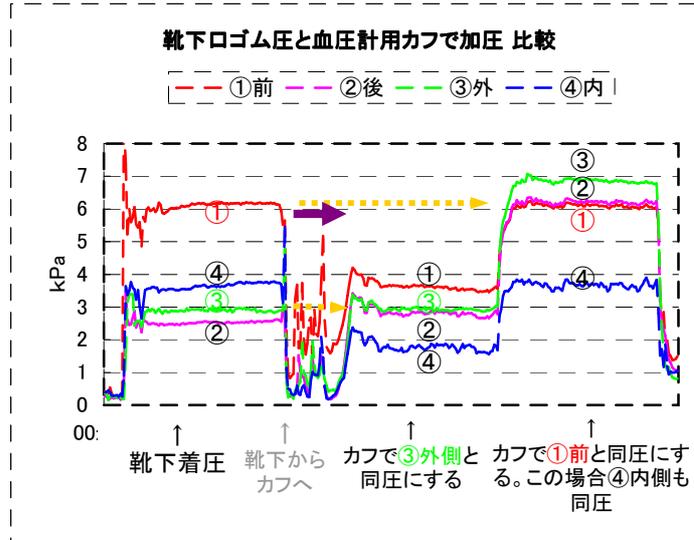
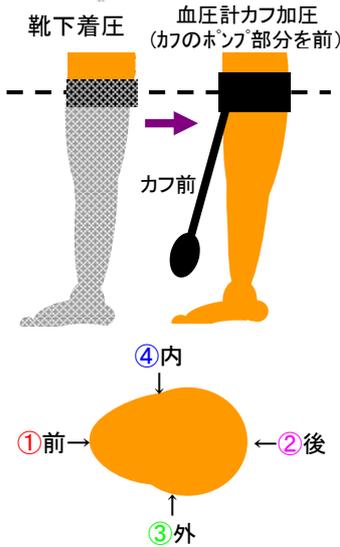
靴下などを想定した拘束圧試験にて、血圧計用カフにて負荷を掛けた場合

- ②拘束圧計測：繊維などの張力、曲率、摩擦が値に表れる。〈真円で摩擦がなかったら周囲均等圧ですが…〉
- ・部位の曲率の影響。曲率が大きいほど接触圧が高い。



- ・被服素材の伸縮特性影響： 繰り返し測定時の復元時間を考慮
- ・拘束圧も上下の繊維張力影響を受ける： 動作時に、体と繊維の摩擦で安定時間を要す
- ・部位の筋などの変形、硬さが変化し影響： 下肢測定でも立位、座位では値が異なる。
- ・計測において、センサの厚みや柔軟性が影響受け高めに計測。（許容計測誤差）

<測定例> エアによるカフの拘束圧と、繊維製品の拘束圧は異なる



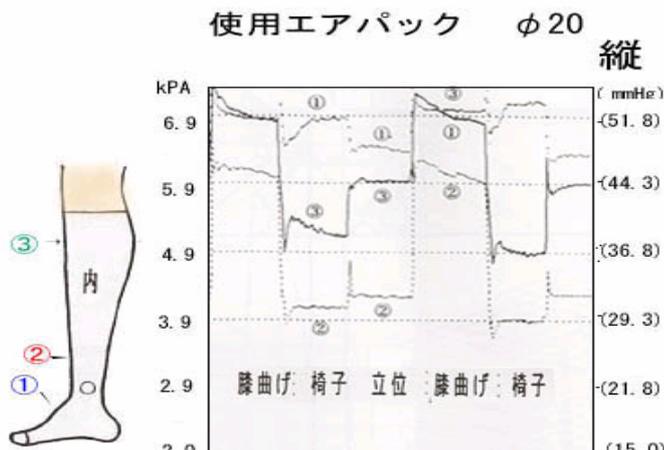
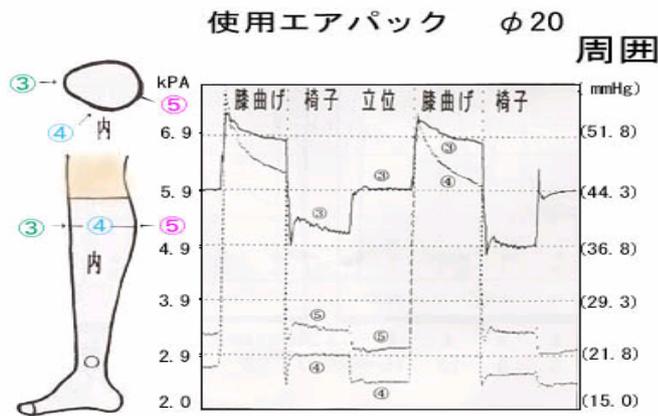
着圧計測と部位、体位によって異なる



センサ取り付け



着用計測



- ・下腿の周囲により値が大きく異なる…部位の数値による
- ・動作別の各部位の計測における注意として繊維張力、摩擦などの影響で安定時間が異なる。